

CHECK 05

農業を体験する

大人版「キッズニア」とも言えるサービス「仕事旅行」では、アナウンサー、建築家、バリスタなどの様々な職業を日帰り（複数日もあり）から体験でき、「農家になる旅」も用意されている。普段会う機会のない農家と1日共に過ごし、農業の魅力や大変さを体験することができる。

田舎と都会を繋ぐサービス「いなかパイプ」では、山、川、海をキーワードに四国を中心とした田舎の体験プログラムが多く紹介されており、1ヶ月間の農家インターンシップ募集もある。長期滞在することで、田舎での暮らしと仕事を両立するためのスキルを学ぶことができる。

info.

<仕事旅行>
http://www.shigoto-ryokou.com/
<いなかパイプ>
http://inaka-pipe.net/



CHECK 04

仲間を見つける

家庭菜園特化型 SNS では、作物ごとの栽培日記の投稿やユーザー同士の交流が楽しめる。うまく育たないときに「教えてください」と投稿にコメントを促す機能もあり、菜園者同士で助け合える環境が生まれている。ユーザー限定のオフ会も定期的に開催され、ネットをご縁に家庭菜園を楽しむ人が増えている。「Cropnet（クroppネット）」（運営：株式会社シーエーシー）にはアマチュアの菜園者が、「菜園ナビ」（運営：株式会社オーレック）には農家の登録者が多く集まっている。

info.

<Cropnet>
https://www.cropnet.jp
<菜園ナビ>
http://saien-navi.jp



CHECK 02

ベランダで育てる

「AROMA GARDEN（アロマガーデン）」（販売：株式会社おうち菜園）は、ハーブの苗1株（または種）、プランター、土、鉢底石、鉢受皿と栽培に必要なものが一式同梱された初心者向けのハーブ栽培セット。ハーブは70種類のラインナップ（時期によって変動）から、プランターは4種類から選ぶことができ、1,980円、2,980円、3,980円（税別）の3タイプが用意される。3月1日に発売予定（販売サイトは準備中）。

info.

<おうち菜園> http://ouchisaien.com/
info@ouchisaien.com



CHECK 01

畑で育てる

首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）を中心に展開する「シェア畑」（運営：株式会社アグリメディア）では、月々5,500円（種・苗、肥料、農具レンタル料含む）から畑を借りることができる。菜園アドバイザーによるサポート付きなので、初心者でも安心して自宅近くで農園生活を楽しめる。利用者が無料で参加できるイベント（収穫祭、野菜コンテストなど）も定期的に開催されている。

「体験農園マイファーム」（運営：株式会社マイファーム）は全国86箇所に広がっており、月額5,000円前後で利用できる。2年以降は月額3,750円になるサービス（一部農園を除く）もあり、栽培に必要な道具は一式揃っているため、手ぶらでもOK。収穫した野菜を食べるところまで体験できるキッチン併設型農園「キッチンファーム」も新横浜と日吉の2箇所にオープンし、多様な農業の楽しみ方を生み出している。

info.

<シェア畑> http://www.sharebatake.com/
運営事務局 ☎0120-936-466
<体験農園マイファーム> http://myfarmer.jp/



CHECK 06

農業を勉強する

週末に学べる農業ビジネススクール「アグリイノベーション大学校」（運営：株式会社マイファーム）は、将来就農を目指す人や食ビジネスに関わりたい人向けに3つのコースを用意し、座学や農場実習、現地研修を通じて農業のスペシャリストを育成する。関東、東海、関西（神田、千葉、横浜、名古屋、滋賀、大阪）で開講されており、仕事と両立して農業を体系的に学ぶことができる。



info.

<アグリイノベーション大学校>
https://agri-innovation.jp/



リビングで育てる

「Green Farm（グリーンファーム）」は、野菜を家で育てるために開発されたインテリア性の高い栽培家電。時計とタイマーをセットし運転ボタンを押すだけで、レタスやルッコラ、スイートパジルなど合計20種類の野菜がリビングで育つ。本体サイズは、幅544×奥行き262×高さ305mm。最大で3段まで重ねることができ、収穫量を増やすことも可能。

info.

<株式会社ユーイング>
http://www.uing-u-tc.co.jp/
☎0120-911-597



「場所がない」「忙しい」「やり方がわからない」——こんな理由で農業や家庭菜園を諦めている人がいたら、ちょっと待ってほしい。そうした悩みを持った人でも気軽に「農」を体験するための選択肢がいま、増えてきている。

場所がないなら畑を借りて週末農業を、忙しいなら家のベランダやリビングで家庭菜園を、一緒にやる仲間が欲しいならSNSで見つける。農家を目指すなら、1日限定の農家体験や、より長期のインターンシップ、仕事をしながら通える農業ビジネススクールまで、様々な環境が整いつつある。

ここ数年で利用者が増えてきている市民農園は、一定の区画を借りて自分だけの畑を持つサービス。農具一式が準備され、不透明なアドバイザーに聞くこともできるので、初心者でも安心（※注/対応は農園による）。子供から大人まで、週末に気軽に農に触れることができる。首都圏中心であればシェア畑、関西や東海などを含む全国規模であれば体験農園マイファームなどがある。

畑に通う時間さえもない……そんな人には、ベランダで育てるという選択肢もある。畑に比べると収穫量は減るが、ベランダも立派な家庭菜園の舞台になる。野菜からハーブまで十分楽しめる空間だ。初心者向けハーブ栽培セット「AROMA GARDEN（アロマガーデン）」なり、70種類の中から好きな品種を選んで育てることができる。

ベランダさえもないなら、リビングやキッチンで野菜を育てよう。

水耕栽培キットは土を使わないので部屋を汚す心配もなく、簡単に収穫ができるように設計されている。

特に人気なものでは、レタスやイタリアンパセリなどの葉もの野菜が育つ水耕栽培器「Green Farm」がある。

ただ、畑を介して交流できる市民農園とは違い、家で育てる場合は仲間に恵まれないこともある。そんなときに活用するのが、家庭菜園特化型のSNS。ネットを通じて全国の菜園者と繋がり、うまく育たないときは質問を、収穫時は喜びを共有できる。「菜園ナビ」や「Cropnet（クroppネット）」が有名だ。

もし農に触れるなかで「農家になりたい」と本気で思ったなら、一度生産者に会ってみると、より具体的にイメージがつかめるだろう。1日体験なら「仕事旅行」を、1ヶ月以上であれば「いなかパイプ」でインターンシップを、しっかりと体系的に学びたいのであれば「アグリイノベーション大学校」で社会人しながら農業の勉強もできる。

こうした環境がどんどん整っていけば、みんなの食卓に必ず一品、自分で育てた食材が並び——そんな社会が実現するかもしれない。

食べ物で自分で育てる体験は、もっと身近であっていいはずだ。